

[成果情報名] ‘させぼ温州’の枝枯れ症状の原因は病害ではない

[要約] 県内各地の‘させぼ温州’の枝枯れ症状を呈する枝からは数種の菌類が分離されるが、病原性は確認されない。

[キーワード] させぼ温州、枝枯れ

[担当] 長崎果樹試・病害虫科

[連絡先] 電話 0957-55-8740、電子メール s00660@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

県内で栽培が広がりつつある‘させぼ温州’で、春期に枝枯れ症状が見られることから、産地では早急な対策が望まれている。このため、2003年および2004年に発生した枝枯れ症状について病理学的な検討を行う。

[成果の内容・特徴]

1. ‘させぼ温州’の枝枯れ症状を呈した枝からは、多くの場合 *Colletotrichum* 属菌および *Fusarium* 属菌が分離され、他に *Phomopsis* 属菌や *Alternaria* 属菌等が認められる(表1、2)。
2. 接種試験の結果、付傷部位と切り戻し部位に病変は認められず、供試菌株に病原性は認められない(表3)。
3. 本症状の発生には特定の病原体として糸状菌が関与している可能性は低い。

[成果の活用面・留意点]

1. ‘させぼ温州’栽培園の枝枯れ症状対策に活用できる。

[具体的データ]

表1 させぼ温州枝枯れ症状から分離した糸状菌 (2003)

No.	採取ほ場	品種	属名	培養上の特徴
1	大村市 田川氏ほ場	させぼ温州	<i>Fusarium</i> sp.	柄子殻形成, 白色菌そう
2	伊木力	させぼ温州	<i>Fusarium</i> sp.	鮮紅色菌そう
3	大村市 果樹試験場	させぼ温州	<i>Fusarium</i> sp.	橙色菌そう
4	多良見町 白岩	させぼ温州	<i>Fusarium</i> sp.	橙色粘塊
5	大村市 一ノ瀬氏ほ場	させぼ温州	<i>Fusarium</i> sp. <i>Phomopsis</i> sp.	白色菌糸
6	多良見町	させぼ温州	<i>Fusarium</i> sp.	

表2 させぼ温州枝枯れ症状から分離した糸状菌 (2004)

No.	採取地・枝	分離年月日	品種	属名	培養上の特徴
1	ことのみ2	2004.4.21	させぼ温州	<i>Colletotrichum</i> sp.	
2	ことのみ3R	"	"	<i>Fusarium</i> sp.	鮮紅色菌そう
3	ことのみ3Y	"	"	<i>Fusarium</i> sp.	白色~橙色菌そう 鮮紅色
4	ことのみ4	"	"	<i>Colletotrichum</i> sp.	
5	長与A	2004.6.17	"	<i>Colletotrichum</i> sp.	橙色菌そう
6	長与B	"	"	<i>Colletotrichum</i> sp.	濃緑色菌そう
7	西彼1A	"	"	<i>Phomopsis</i> sp.	
8	西彼1B	"	"	<i>Colletotrichum</i> sp.	橙色菌そう
9	西彼2A	"	"	<i>Colletotrichum</i> sp.	白~橙色菌そう, 橙色粘塊多数
10	西彼2B	"	"	<i>Colletotrichum</i> sp.	濃緑色菌そう
11	西彼2C	"	"	<i>Alternaria</i> sp.	褐色菌糸
12	西彼2D	"	"	不明	白色菌糸, 濃緑色輪紋菌そう

表3 分離菌株の病原性 (接種試験)

No.	供試菌株	属名	発病箇所 / 接種箇所	
			付傷接種	切り戻し部位
1	KOT001	<i>Colletotrichum</i> sp.	0/3	0/3
2	KOT003	<i>Fusarium</i> sp.	0/3	0/3
3	無接種	-	0/3	0/3

[その他]

研究課題名：果樹ウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病虫害調査

予算区分：県単

研究期間：2003～2004年度

研究担当者：菅 康弘